バイオマスタウン構想分析DB

【リンク】生駒市

公表回	公表年月日	構想見直し 公表回	構想見直し 公表年月日	都道府県名	市町村名	人口（人）	面積（km²）
46	2011.03.31			奈良県	生駒市	119,799	53.18

構想の要約	生駒市は、地域の良好な環境を保全し持続可能な社会をつくるため、廃棄物の減量に取り組むと共に、良好な住宅都市の特性を活かし、家庭系食品廃棄物の利活用、し尿・浄化槽汚泥、下水汚泥の利活用、事業所から排出される生ごみ、廃食用油の回収・利活用の推進、剪定枝・刈草の堆肥化等により循環型社会の構築と地球温暖化防止への貢献を目指す。
構想に盛り込まれた事業	①生ごみのメタン発酵・堆肥化 ②廃食用油のバイオディーゼル燃料化 ③下水汚泥等のメタン発酵・堆肥化 ④剪定枝・刈草のマルチング・堆肥利用 ⑤廃棄紙の再利用化
バイオマス利活用目標	添付別紙参照
バイオマスタウン構想概要図	添付別紙参照

利用するバイオマス

廃棄物系バイオマス		未利用バイオマス		資源作物	
家畜排せつ物		稲わら・もみがらなど	○	資源作物（菜の花）	○
農業系廃棄物（廃菌床など）		野菜等非食部			
食品廃棄物	○	間伐材・林地残材			
廃食用油		果樹剪定枝			
水産加工残さ		竹材			
製材工場等残材		その他（ゴルフ場芝刈草他）			
建設発生木材					
街路樹・公園・家庭剪定枝、刈草	○				
古紙・廃棄紙	○				
下水汚泥など	○				
その他（　　　）					

利用するバイオマス変換技術

マテリアル利用のための変換技術		エネルギー利用のための変換技術	
堆肥化（土壌改良材・肥料を含む）	○	バイオガス化（メタン発酵）	○
飼料化		直接燃焼	
バイオマスプラスチック製造		ガス化	
その他（なたね油、マルチング材、腐葉土）	○	炭化	
		固形燃料化（チップ・ペレット・RDFなど）	
		バイオディーゼル燃料化	○
		バイオエタノール化	
		その他（　　　）	

バイオマスタウン実現に向けた取組の進捗状況

記入年月日	記事
2011.03.31	2011.03.31バイオマスタウン構想公表（JORA協力。BTアドバイザー研修地）

実現した事業	添付別紙参照

バイオマス利活用目標

（バイオマスタウン構想書からコピー）

7．バイオマスタウン構想の利活用目標及び実施により期待される効果

7－1．利活用目標

廃棄物系バイオマスについては、生ごみ、廃食用油を主として、現有施設を主に利用しながら、利用率９２％を目指す。また、将来的には遊休農地の利活用により、資源作物である菜の花等の栽培を目指す

バイオマスの種類			賦存量		現状				目標			
			重量(t/年)	炭素換算量(t-c/年)	仕向量(t/年)	炭素換算量(t-c/年)	変換・処理方法	炭素換算利用率(%)	仕向量(t/年)	炭素換算量(t-c/年)	利用・販売	炭素換算利用率(%)
廃棄物系バイオマス												
	食品系廃棄物	生ごみ(家庭系・事業系)	4,182	185	365	16	メタン発酵堆肥化	9%	3,800	168	熱電磁化消費・堆肥	91%
		廃食用油(家庭系)	93	67	9	6	BDF	9%	85	61	BDF	91%
		廃食用油(事業系)	1,536	1,097	1,536	1,097	資源販売	100%	1,536	1,097	資源販売	100%
		廃食用油(学校給食)	9	6	9	6	BDF	100%	9	6	BDF	100%
	廃棄紙	古紙・紙ごみ	17,816	7,844	3,953	1,741	古紙回収	22%	16,000	7,045	古紙回収	90%
	木質廃棄物	剪定枝葉・刈草(家庭系)	855	190	0	0	－	0%	650	145	マルチング腐葉土	76%
		剪定枝葉・刈草(公共)	306	68	0	0	－	0%	250	56	マルチング腐葉土	82%
		剪定枝葉・刈草(業者)	233	52	0	0	－	0%	200	45	マルチング腐葉土	86%
	下水汚泥等	下水汚泥	36,546	3,508	20,106	1,930	メタン発酵堆肥化	55%	36,546	3,508	熱電自家消費・建築資材	100%
		し尿処理汚泥	5,708	548	5,708	548	メタン発酵堆肥化	100%	5,708	548	熱電自家消費	100%
		浄化槽汚泥	22,733	2,182	22,733	2,182	メタン発酵堆肥化	100%	22,733	2,182	熱電自家消費	100%
	廃棄物系バイオマス 計		90,017	15,747	54,419	7,526	－	48%	87,517	14,860		92%
未利用バイオマス												
	農作物非可食部	稲わら	1,584	453	0	0	すき込み	0%	0	0	－	0%
		もみがら	380	109	0	0	廃棄	0%	0	0	－	0%
	未利用バイオマス 計		1,963	562	0	0	－	0%	0	0	－	0%
資源作物												
	油脂資源	菜の花(なたね)	－	－	－	－	－	－	54	39	なたね油 BDF	－
	資源作物 計								54	39		－

※菜の花(なたね)の目標仕向量は、収穫が見込めるなたね油の量を推計した値

（注：本表の現状・仕向量は、平成21年度までの実績値をもとにしている。）

バイオマスタウン構想概要図

（バイオマスタウン構想書からコピー）

６－３．取組工程

	短期 平成 23～25 年	中期 26～28 年	長期 29～32 年
生ごみ及び古紙の利活用検討	分別・回収の検討、処理方法の検討	回収の開始、利活用の拡大	→
廃食用油の利活用検討	収集の検討、BDF 利用方法の検討	収集の拡大、BDF 製造と拡大	→
し尿、浄化槽汚泥の利活用検討		処理方法の検討	利活用の拡大
下水道汚泥の利活用検討	汚泥利用方法の検討	施設・設備の検討	利活用の拡大
剪定枝、刈草の利活用検討	分別・回収の検討、利活用方法の検討	回収の開始、利活用の段階的拡大	→
市民講座、イベントの開催や団体・人材の育成	継続実践	→	→

実現した事業（その１）

事業の名称	
事業者名	
事業所名	
住所（施設の所在地）	
利用するバイオマス	
利用する変換技術	

事業の概要	添付別紙（パンフレット等）参照
	（事業形態、事業構成メンバー、出資比率、事業開始時期、施設の概要、プラントメーカー、建設業者、イニシャルコスト、ランニングコスト、原料単価、製品単価、経営状況、事業運営の課題、成功・失敗要因など記入）